

研修医に望むこと:血液内科

- 「・・・ができるようになった」ことは重要視しません。「広く浅く学習・経験」しても、生涯に渡って通じる基本的な考える力は身につきません。
- 一症例について、深く学習してください。「なぜそうなるのか？理由は何か？」を考え続けて下さい。我々もわからないことだらけで、日々悩んでいます。
- 生意気くらいが丁度良いです。自分の考えを積極的に表出して下さい。その繰り返しが、自己の考えの整理となり、プレゼンテーション能力を養います。
- 担当患者さんについては、「主治医以上に、自分が一番病態を理解している」と錯覚する？くらいのめりこんで自己能力の最大限度まで深化・探求して欲しいと思います。その繰り返しが実力となります。

血液内科では、ハードではなくソフトの涵養を目指しています。